

2017年(平成29年)度第5回理事会議事録

日 時：平成29年12月10日（日）13：30～17：15

場 所：A P 東京八重洲通り（7階Sルーム）

出席者：岡部繁男(理事長)、木山博資、寺田純雄、仲嶋一範、八木沼洋行(以上、常務理事) 牛木辰男、大塚愛二、小澤一史、小路武彦、佐藤 真、島田昌一、篠田 晃、城戸瑞穂、中村桂一郎、西 真弓、藤本豊土、藤山文乃、渡部 剛 (以上、理事)、松村謙兒、渡辺雅彦(以上、監事)、阪上洋行、松崎利行(以上常任幹事)、片桐 淳、中村 聡 (以上、口腔保健協会)

欠席者：千田隆夫(以上、理事)

I. 議事録署名人の選任

定款第39条の規定により、松村・渡辺両監事を議事録署名人として選出した。

II. 会議記録の確認

以下の議事録が確認された。

- (1) 2017年(平成29年)度第2回理事会（平成29年3月27日開催）議事録（案）
- (2) 2017年(平成29年)度定時社員総会（平成29年3月28日開催）議事録（案）
- (3) 2017年(平成29年)度第3回理事会（平成29年3月28日開催）議事録（案）
- (4) 2017年(平成29年)度第4回理事会（平成29年3月28日開催）議事録（案）

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 教授就任による代議員の承認について

資料に基づき、教授就任による以下の8名の代議員の承認が報告された。

池森 敦子 先生（聖マリアンナ医科大学・解剖学（機能組織）・教授）

森 泰丈 先生（国際医療福祉大学医学部・解剖学・教授）

久保田 義頭 先生（慶応義塾大学医学部・解剖学・教授）

小阪淳 先生（国際医療福祉大学医学部・解剖学・教授）

仁田 亮 先生（神戸大学大学院医学系研究科・生体構造解剖学・教授）

長瀬 美樹 先生（杏林大学医学部・解剖学・教授）

富田 江一 先生（徳島大学大学院・医歯薬学研究部・機能解剖学・教授）

岡村 裕彦 先生（岡山大学・医歯薬学総合研究科・口腔形態学・教授）

石山 巳喜夫 先生（日本歯科大学・新潟生命歯学部・解剖学第二・教授）

(2) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、第15期男女共同参画学協会連絡会活動報告書に掲載される本学会の活動報告の内容が説明された。また、小澤会頭より、本年度全国学術集会での男女共同参画推進ランチョンセミナーにおいて赤松良子氏（日本ユニセフ協会会長）の講演を予定していることが報告された。

(3) 支部代議員会報告

資料に基づき、各支部代議員会での審議内容が支部長より報告された。また、島田近畿支部長より、近畿支部学術集会において、学会未加入の修士課程学生による筆頭演者としての学会発表に関するローカルルールを平成22年度より実施し、若手研究者の参加の増加による学術集会の活性化に効果をあげていることが説明された。小澤理事より本年度全国学術集会において修士学生からの学生セッションへの参加要望があったことが報告された。今後、常務理事会で学生参加に関する学会としての統一的な方針を検討し、理事会に提案することとした。

(4) 死体解剖資格認定要領の一部改正について

資料に基づき、平成29年11月16日に厚生労働省から通知のあった死体解剖資格認定要領の一部改正（医政発1116第4号）について説明された。改正に関して会員の周知を図るために、一斉メール配信を既に行っているが、今後、学会員からの疑問点を受け付け、必要ならば学会として公式に問い合わせることとした。

(5) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) A S I について

資料に基づき、シュプリング・ジャパン株式会社からのASI販売状況とロイヤリティ収入に関する通知内容が報告された。

- (2) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2017(平成29)年度奨励賞について

資料に基づき、選考委員会(平成29年12月9日開催)での選考結果(5名の選出)が報告された。また、奨励賞の応募資格の制限条件に関して、科研費に合わせて年齢から研究歴に変更するべきではないかとの選考委員会からの意見が報告され、今後、常務理事会で検討し理事会に提案することが説明された。

(2) 一級ならびに二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、認定一級技術者資格試験(平成29年9月30日実施)及び認定二級技術者資格審査に関する認定解剖組織技術者資格審査委員会の審査結果(それぞれ1名の合格)が報告された。

(3) 2018(平成30)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、小澤会頭より演題数(一般演題・学生セッション536演題、特別講演3演題、市民公開講座2演題、シンポジウム・ワークショップ28企画124演題、男女共同参画推進ランチョンセミナー1企画1演題)、プログラム日程、予算案、今後の予定等の準備状況が報告された。

(4) 2019(平成31)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、大会期間(2019年3月27日～29日)、場所(朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター)、運営組織、大会内容の概要等の準備状況が報告された。

(5) 日本医学会・日本医学会連合報告

定時総会における会費、役員選任結果等の議事結果の他、資料に基づき、①日本医学会COI管理ガイドラインの主な改定内容、②「わが国の医学研究者倫理に関する現状分析と信頼回復に向けて」に関する日本医学会連合の提言、③第30回日本医学会総会2019中部のプログラム内容に関して報告された。

(6) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第15回及び第16回定例会議(平成29年4月1日及び10月7日開催)での議事内容が説明され、①国際生物学オリンピックへの生物科学学会連合からの寄付金の拠出、②現在行われている学習指導要領改訂に伴う教科書編集に反映させるため、基礎生物学・統合生物学委員会合同生物科学分科会において、高校生物教育における重要用語を現状の2800語から500語まで整理したこと、③生命科学系学会合同大会の開催に向けて、本年度開催された日本生化学会と日本分子生物学会の合同年次大会ConBio2017の状況の分析と他学会からの意見の収集を行う予定であることが報告された。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、①脳科学オリンピック報告、②日本脳科学関連学会連合からの提案が学術会議マスタープラン2017には採択されたが、文部科学省研究機関課によるロードマップとしては最終的に採択されなかったこと、③学術会議提言に関連した、脳科学における国際連携体制の現況、④高校教科書指導要領改善の申し入れと文部科学省担当者からの提案について報告された。

(8) IFAA報告

資料に基づき、IFAAからの肉眼解剖学研究に対する推奨ガイドラインに関する通知内容が説明された。ASI編集長、編集担当常務理事、企画・渉外担当常務理事らで検討の結果、特にASIとして対応する必要はないと判断し、内容を学会員にメール配信し通知したことが報告された。

(9) マイナビ「進路のミカタ」認定技術者取材について

資料に基づき、マイナビ「進路のミカタ」において掲載された解剖組織技術者に関する職業紹介記事の内容が報告された。また、掲載にあたっては、正確な情報を提供するために常務理事会で内容を確認したことが説明された。

(10) 技術職員における現状と課題についてのアンケートについて

資料に基づき、解剖技術職員の重要性に関して大学側の認知を図るために、技術職員における現状と課題を明確にするための予備的アンケート調査を、解剖体委員会、教育・若手育成委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会合同で実施し、総会で合同委員会を開催し議論する予定であることが報告された。

(11) その他
特になし。

4. 会計報告

(1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、第63回東北・北海道連合支部学術集会、第93回近畿支部学術集会の収支報告について報告された。

(2) 2017(平成29)年度総会・全国学術集会収支決算について

資料に基づき、第122回総会・全国学術集会の収支決算が報告された。

(3) 2017(平成29)年度中間決算書について

資料に基づき、11月次決算報告書(平成29年1月1日～11月30日)の内容が説明され、①受取会費収入の執行率が93.25%であること、②全国学術集会収入が入金されたこと等が報告された。

(4) 日本外科学会CST委員会報告

資料に基づき、第1回CST推進委員会における議事内容が説明され、①CSTへの企業協力に関する利益相反状態の明記の厳格化、②厚生労働省において、CSTの実施に必要な経費支援のための予算を増額して平成30年度概算要求していることが報告された。

(5) 委員会名変更について

資料に基づき、「コ・メディカル委員会」と「情報技術委員会」の名称を、それぞれ「医療専門職教育委員会」と「アウトリーチ委員会」に改称したことが報告された。また、アウトリーチ委員会委員長の佐藤理事より、活動範囲の提示と委員の増員の要望が出され、今後、常務理事会で検討し提案することとした。

(6) 公益目的支出計画実施完了について

資料に基づき、公益目的支出計画の実施完了(平成28年12月31日)に対する内閣府からの確認書の内容が報告された。

(7) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 名誉会員・永年会員の推薦について

資料に基づき、名誉会員1名と永年会員23名について審議した結果、承認された。今後、本人の意思確認を行った後、社員総会に諮ることとした。

2. 申請による代議員について

事前配布資料に基づき、申請による代議員申請10名について投票が行われ、全員承認された。また、現在、代議員数が327名で、定款で規定された代議員数(300名以上500名以)の下限に近いことより、今後、代議員の定数や選出規程の改定等も含めた代議員の在り方について議論され、継続審議することとした。

3. 利益相反に関する規程の一部改正について

資料に基づき、日本医学会COI管理ガイドラインの改定に関して、本学会として速やかに対応できる3項目①役員等の就任時の利益相反状況の申告年数(就任日から遡って過去1年間から3年間へ)、②企業や営利を目的とした団体等からの金銭的支援の総額(年間200万円から100万円へ)、③学術集会、講演会等での発表の際の利益相反状況の申告年数(演題登録時から遡って過去1年間から3年間へ)についての利益相反に関する規程の改定案が説明され、審議の結果、承認された。

4. 次期役員選挙実施方法について
資料に基づき、次期役員選挙における電子投票導入が提案された。懸念事項であった①不正投票は投票完了メールの本人への送付や学会事務局による定期的なログの確認により防止できること、②システム構築費用も郵送による従来の方法と同程度であり、将来的に選挙管理委員を減員できること、③メール非登録の代議員は現在いないことが説明された。審議の結果、平成31-32年度役員選挙における本システムの導入が承認された。
5. 解剖学雑誌電子化について
資料に基づき、解剖学雑誌の電子化に向けて、学会事務センターで欠落するバックナンバーのうち、第10巻を除いてすべてのバックナンバーの取得に目処が立ったこと、今後、電子化に向けて費用の見積もりを行うことが説明された。審議の結果、費用の見積もり結果を勘案しながら電子化を進める方向で承認された。
6. ASI次期契約について
資料に基づき、ASI次期出版契約に関する進捗状況について報告された。シュプリンガー・ジャパンのASI担当者の退職に伴い、新たに英文契約書による提案があったため、日本語併記の英文契約書を要求し内容を精査した結果、概ね平成29年度第5回常務理事会で了承された契約内容であること、一部の契約条件（年度途中の入会者への冊子の配布、学術集会での無料プーズ設置、カラー無料化の範囲など）の変更や明確化を求める方針であることが説明された。審議の結果、契約内容と変更を求める事項について承認され、協議後の契約の締結に関して常務理事会に一任することで了承された。
7. 2017(平成29)年度認定技術者功労賞について
資料に基づき、2017(平成29)年度認定技術者功労賞申請者2名について審議し投票により、承認された。
8. 認定技術者制度における制度見直し等について
資料に基づき、審査料金の改定に関して説明され、審議の結果、承認された。
9. 理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する検討について
資料に基づき、理学療法士協会・学会の河上敬介会長・学会長と網本和常務理事から理学療法士の養成過程における割出を伴う解剖学実習の実施に向けた協力と理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する解剖学会との合同検討会の設置の趣旨について説明があり、その後、質疑応答が行われた。審議の結果、八木沼理事が中心となりワーキンググループを設置し、今後の本学会の対応を検討することで承認された。
10. 日本生理学会との合同大会について
資料に基づき、日本生理学会との合同大会の2021年開催を目指すことが提案され、審議の結果、承認された。
11. 2021(平成33)年度総会・全国学術集会開催校について
資料に基づき、2021(平成33)年度総会・全国学術集会開催の応募が現時点でないことが報告された。今後、日本生理学会との合同大会との開催に向けて、日本生理学会と調整し開催校を決定する方針が説明され、審議の結果、承認された。
12. 日本顕微鏡学会の英文誌Microscopyとの連携について
資料に基づき、ASIと日本顕微鏡学会の英文誌Microscopyとの連携について説明され、審議の結果、承認された。
13. 第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会「FAOPS2019」への後援について
資料に基づき、日本生理学会からの第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会「FAOPS2019」への後援の依頼について説明され、審議の結果、承認された。
14. 2018(平成30)年度事業計画案について
資料に基づき、岡部理事長より2018(平成30)年度事業計画案について説明され、審議の結果、承認された。

15. 2018(平成30)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について
資料に基づき、口腔保健協会との事務委託に関する再契約内容と2018(平成30)年度仮予算書案が説明された。審議の結果、承認された。
16. 商業誌における転載許諾の取り扱いについて
資料に基づき、サンスターからのASI掲載図版の広告への転載に関する問い合わせに対して、有償で転載を許諾する方針であることが説明され、審議の結果、承認された。
17. その他
次回(2018(平成30)年度第1回)の日程について
日時 2018(平成30)年3月27日(火) 15:30~17:30
会場 日本獣医生命科学大学・日本医科大学武蔵野キャンパスE棟2F「中教室1」

上記の2017年(平成29年)度第5回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人(監事)はここに記名押印する。

2017年(平成29年)月 日

一般社団法人 日本解剖学会
議長

署名人

署名人